



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

「エネルギーの将来について、確たる知識に基づき、価値観を越えて合意をつくる」プロジェクトは、エネルギーの将来を担う世代である「学生」を対象として、エネルギーに関する知識を獲得し、各自の意見を明確化したうえで、各自の価値観の相違を尊重しながら、参加者間の「合意」を目指して話し合うことを目的としたプロジェクトです。

本事業は、経済産業省資源エネルギー庁の支援を受けて実施しています（事務局：（一財）日本立地センター）。

○ 第2回ワークショップ

〔日程〕2016年9月19日（月） 13:00～15:00

〔場所〕パブリック・アウトリーチ事務所

〔プログラム〕

13:00	ワークショップ開始
13:00～13:10（10分）	前回の振り返りと今回の進め方
13:10～14:10（60分）	講義「電源別発電コスト評価の概要と主要な論点」 講師：松尾 雄司 氏（日本エネルギー経済研究所研究主幹）
14:10～14:35（25分）	Q&A
14:35～14:55（20分）	自由討議
14:55～15:00（5分）	次回以降のアナウンス・事後アンケート記入
15:00	終了

○ 次回以降のスケジュール

- 第3回：~~2016年9月22日（木） 13:00～15:00~~（延期）
「原子力の安全性（Safety）について（仮）」
講師 諸葛 宗男 氏（パブリック・アウトリーチ／元東京大学公共政策大学院特任教授）
- 第4回：2016年10月17日（月） 19:00～21:00
「エネルギー安定供給（Energy Security）について（仮）」
講師：藤井 康正 氏（東京大学大学院工学系研究科教授）
- 第5回：2016年11月14日（月） 19:00～21:00
「環境適合性（Environment）について（仮）」
講師：柳下 正治 氏（上智大学大学院地球環境学研究科客員教授／環境政策対話研究所代表理事）
- 第6回：2016年12月12日（月） 19:00～21:00
ワークショップ「エネルギーの将来はどうあるべきか（仮）」